

令和3年1月吉日

明治ホールディングス株式会社
株主様各位

御 礼

一般社団法人気仙沼まちづくり支援センター

代表理事 塚本 卓



拝啓 時下いよいよ御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から東日本大震災復興のために種々お力添えを賜り厚くお礼申し上げます。

この度は、沢山のお菓子を御寄贈賜りまして誠に有り難うございました。

私共気仙沼まちづくり支援センターは、地域の中間支援組織として東日本大震災の津波被害により、新たな地域づくりを行う地域のまちづくり団体の支援をしております。

この度の皆様からのご厚意は、当団体から気仙沼市内で活動する団体を通じて、地域の子供たちや住民の皆さんにお届けさせていただきました。

2011年3月11日から間もなく10年となりますが、津波の被害を受け大きく変容した地域では、今なお住民間の交流に課題を抱えています。住民自治組織も若手のかかわりが薄く、高齢化していることもあり、活動が思うに任せない状態のところも多く、地域の親睦を深めることが十分にできていません。そのような環境でも、子供たちを中心にとすると、その家族も関わる機会となり、新たな交流が生まれるきっかけとなります。

子供が集まる場、そのテーブルにある明治のお菓子。「ぷっか」を手にした子どもはその形を比べ合い、「マーブルチョコ」を目にした大人は子供のころを懐かしみ、「きのこの山」派と「たけのこの里」派がそれぞれの思いを語り合う。参加している皆が笑顔で口にほおぼり「完熟リンゴ・完熟オレンジ」で流し込む。「ベストスリー」や「リッチストロベリー」も小分けになっているから、それぞれが安心して手に取ることができる。お菓子を食べながら会話が弾む。

寄せられた写真やメッセージからは、和やかで楽しい時間を過ごした様子がうかがえます。

皆様からの思いを胸に、節目の先を見据え地域課題の解決に向き合う所存でございます。

末筆ではございますが、重ねましてお礼申し上げますとともに

皆様のますますのご発展、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具

